

急変時の取り組みについて

流山市役所健康福祉部介護支援課

令和5年5月25日

「急変時の対応」の場面における目指すべき姿

医療・介護・消防（救急）が円滑に連携することによって、在宅で療養生活を送る医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者の急変時にも、本人の意思も尊重された対応を踏まえた適切な対応が行われるようにする。

（在宅医療・介護連携推進事業の手引き Ver.3 第2章 3(4)①より）

課題解決に向けた論点

- 高齢化の進展に伴い、高齢者の救急搬送件数は増加の一途を辿っている中で、在宅で最期まで療養することを希望する本人の病状が急変した際に、本人の意思に沿わない救急搬送が増加することが懸念されており、地域において、本人の病状や希望する療養場所、延命措置に対する希望等、本人の意思を共有するための関係機関間の連携体制の構築が喫緊の課題となっている。
 - ⇒地域ごとに「患者の意思」を関係者が共有できる仕組み・ルールを考える必要。

急変時の対応について事務局で抽出した課題要点

1. 情報共有が不足している

仕組みがない、足りていない。(入退院(所)・在宅・急変時)

2. ACPなどについて、本人・家族とスタッフの認識の違い

意向確認の場での説明内容や家族での話し合いが不足している。

3. 急変（緊急）時の対応方法が定まっていない

急変時に訪問・介入する場合に、対応方法が分からない。

4. 救急現場での情報不足

抽出した課題への対応案

1. 情報共有が不足している

カナミックでの情報共有
支え合い名簿
救急情報セット

} 活用の検討・推進
(関係職種、市民向け両方)

2. ACPなどについて、本人・家族とスタッフの認識の違い

ACPに関わる講座の開催 (関係職種・市民向け)
もしバナゲームの周知・活用

3. 急変(緊急)時の対応方法が定まっていない

対応方法について基本的な流れを策定 (DNR含む)
つむぐ会等で「急変時の対応」に関する事例検討を開催

4. 救急現場での情報不足

救急情報セットの活用推進。(含まれる情報の再検討)
救急隊と搬送先となる病院とで必要情報となる情報の整理

医療・介護サービスにつながっている在宅療養者

場面の抽出

予測されている疾患での急変⇒看取り

治療中以外の新たな疾患

どうするか決まっていない

目標設定

望まない搬送されることなく住み慣れた生活の場で本人の意思が尊重され最期を迎えることができる

予測されている疾患と明らかに様子が違う

関係者間の適切な情報を連携共有することでスムーズに医療につなげることができる

本人が意思決定することができ家族・支援者等と共有することができる

どのような情報が必要か

主治医・訪問看護に連絡し対応の指示仰ぐ

対応マニュアル作成

ACPの普及啓発
急変時についての啓発
(救急情報シートPRなど)

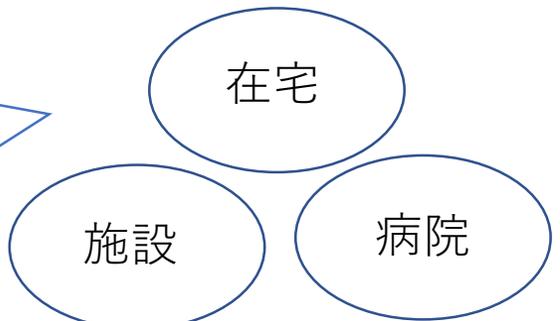
対応

救急要請までの流れ

どのような情報が必要

医療・介護職 + 消防とも共有？協同？

ここへの対応は何が必要



病院

関係者情報連携シート
使い方マニュアル作成

抽出した課題への対応案 修正1 2023年5月

1. 情報共有が不足している

仕組みがない、足りていない。（入退院（所）・在宅・急変時）

⇒ **カナミックの活用**

⇒ **本人情報連携シートや対応マニュアル作成**

< 予測されている疾患による急変の場合 >

関係者全員が状況を周知し情報共有できるため **本人情報連携シート**作成。合わせて **対応マニュアル**も作成。

< 治療中以外の新たな疾患による急変の場合 >

急変に遭遇した関係者が慌てず落ち着いて行動できるよう、またスムーズな救急要請につなげるための **対応マニュアル**作成。

抽出した課題への対応案 修正2 2023年5月

2.ACPについて本人・家族とスタッフの認識の違い

意向確認の場での説明内容や家族での話し合いが不足している。

⇒ ACP普及、啓発への取り組み

本人が意思決定でき、関係者が本人の意思を共有するために

- ・ ACPに関わる講座の開催（関係職種・市民向け）
- ・ もしバナゲームの周知・活用。

抽出した課題への対応案 修正3 2023年5月

3. 急変時の対応方法が定まっていない

急変時の介入において、対応方法がわからない。

⇒ 本人情報連携シートの作成

関係者情報連携シートの作成
(千葉県地域生活連携シートの活用)

使い方マニュアル（急変時対応シート）の作成

抽出した課題への対応案 修正4 2023年5月

4. 救急現場での情報不足

救急現場での本人・家族などの情報が不足している。
対応方法が統一できない。

⇒消防との情報交換。

たたき台をもとに、つむぐ会などの関係者から
意見をいただき吸い上げ、情報整理し本人情報連携
シートの作成（使い方マニュアルも合わせて作成）

抽出した課題の対応案を踏まえ、取り組み計画(案)

- 抽出した課題1～4をもとに3つの場面を設定し、それぞれの場面目標設定する。⇒場面分けは、この3つでよいか？

予測されている疾患での急変の場合
治療中以外の新たな疾患による急変の場合
どうすることになっているのかきまっていない場合

- 場面と目標に対する**取り組みの視点や方向性、対応策の案**はこれでよいか？
- 今年度の取り組みは**治療中以外の新たな疾患の場面**でよいか？

抽出した課題の対応案を踏まえ、今年度の取り組み計画 (案)

＜治療中以外の新たな疾患による急変時の取り組み＞
課題3 急変時の対応

⇒**本人情報連携シート作成（対応マニュアル作成）**

関係者情報連携シート作成（千葉県地域生活連携シート活用）

課題4 救急現場での情報不足

⇒**消防との情報交換の機会を設ける。**

たたき台をもとに、つむぐ会関係者から意見を吸い上げ、

本人情報連携シートの作成（急変時対応マニュアルも作成）

関係者連携シートの検討（千葉県地域生活連携シートを活用）

急変の発生

こんな時、どうする?! 急変時の対応

連絡先はどこ?
あわてず電話を!

いつもに比べて何かおかしい⇒**急変**の可能性が高い!

<訪問看護を利用している>

訪問看護に連絡



事業者名:

担当看護師:

電話番号:

主治医/かかりつけ医に連絡

医療機関名:

医師名:

電話番号:



●医師や訪問看護からの指示あり

●連絡とれない

119番



担当ケアマネージャー 事業所名:
担当名:
電話:

緊急時の家族連絡先 氏名:
電話:

急変時の持ち物

健康保険証

診察券

お薬手帳

お金

靴

家の鍵

携帯電話 など

- 反応が鈍い
- 反応しない
- 吐いている
- 手足しびれがある
- 息苦しい
- 胸が痛い など

急変の発生

こんな時、どうする?! 急変時の対応

いつもに比べて何かおかしい⇒急変の可能性が高い!

優先順位を
かく

訪問看護に連絡

事業者名:

担当看護師:

電話番号:



優先順位を
かく

主治医/かかりつけ医に連絡

医療機関名:

医師名:

電話番号:



連絡先はどこ?
あわてず電話を!

優先順位の
周知徹底

- 医師や訪問看護からの指示あり
- 連絡とれない

119番



望まない
搬送減らす

- 反応が鈍い
- 反応しない
- 吐いている
- 手足しびれがある
- 息苦しい
- 胸が痛い

担当ケアマネージャー 事業所名:
 担当名:
 電話:

救急隊や病院と連携スムーズに図れるため

急変時の持ち物

健康保険証
 診察券
 お薬手帳
 お金

いざという時の
備えの意識づけ

・携帯電話 など

緊急時の家族連絡先 氏名:

家族で決めておく